

2月19日(水) 本年度第31回(通算2718回)

「RI創立記念アクト合同例会」

担当/理事会・新世代委員会

12時30分～釧路プリンスホテル

■お客様

中村 理恵子会長、菊池 吉史副会長、畠山 優那幹事、小甲 薫会計、斎藤 慎也君、安田 浩佑君
小野寺 亮太君、禿 一道君(以上8名 釧路北RAC)

■メーキャップ

2月8日 小野 寺英夫君、佐渡 正幸君(会長幹事会)
2月17日 北川 健二君、中嶋 嘉昭君、本間 明美さん(IM会議)
2月18日 田村 憲一郎君(釧路東RC)

■出席報告【会員総数69名 免除7名 出席計算に用いた会員数69名】

出席者 41名 本日の出席率 59%

■ニコニコ献金

- ・本日の会員卓話よろしくお願ひ致します ～小野寺 英夫君、佐渡 正幸君
- ・高橋会員、平井会員、本日はよろしくお願ひ致します ～坂入 信行君
- ・誕生日です。ありがとうございます ～山本 大介君
- ・明日はお誕生日です。ありがとうございます ～菊地 美恵子君

■会長挨拶 《小野寺会長》



みなさんこんにちは。週末からの大雪で足元の悪いなかにもかかわらず、例会に出席頂きありがとうございます。会員の皆様の中にも雪で仕事に支障をきたしているとか、雪かきで体に支障をきたしている方もいるのではないのでしょうか。

自分の会社の除雪をするときに回りもするのですが、これがまた微妙でして続けているとだんだん当たり前ようになってきたりしまして、中には当然のようになってしまうこともあります。大きくとも小さくとも隣との関係が一番難しいようです。

「足るを知る者は富む」という言葉があります。満足することを知っている者は、たとえ貧しくとも精神的には豊かで、幸福であるという意味で、皆さんはもちろん貧しくはありませんが、何事にも感謝の気持ちを持ち、節度を過ぎないことが大事ということなのではないのでしょうか。

ロータリアンとしても心がけていたいと思います。

■幹事報告 《佐渡幹事》



- ・2014～15年度のロータリー手帳の予約受付がきておりますので、受付票を回覧いたします。定価648円となっております。
- ・根室ローターアクトクラブ創立40周年記念式典の仮登録のご案内がきておりますので、回覧いたします。



田村 憲一郎 君

○ロータリーの誕生

1905年2月23日(明治38年)、青年弁護士ポール・ハリスはシカゴの退廃した状況を憂え、3人の友人石炭商シルベスター・シール、鉱山技師ガスターバス・ローア、洋服商ハイラム・ショーレーと自らの理想を広く人々に呼びかけるため、第1回の会合を持つに至りました。更に印刷業のハリー・ラグルス、他の友人が加わってロータリークラブの誕生となりました。

ロータリーとは集会を順番に会員が各自の事務所を持ち回って聞くことから名付けられました。この理想は着実に実現されて、1908年2番目のクラブがサンフランシスコにつくられ、1910年にはクラブ数16を数えるまでになり、カナダ、英国へと広がり、ここにロータリー国際連合ができ、1922年には国際

ロータリーと呼ばれることになったのです。現在155の国家に広められ、クラブ数3万、会員数は約、120万人に及んでいます。日本最初のロータリークラブは1920年(大正9年)10月、今から94年前に三井銀行重役の米山 梅吉氏が国際ロータリーから委任されて東京に設立。855番目のクラブでありました。1922年、大阪、次に神戸、名古屋、京都、横浜、また当時日本の統治下にあった朝鮮、台湾、さらに満州国にも設立され、昭和15年に48クラブ、会員数2,000名を数えました。ところが太平洋戦争のため一時脱退に追い込まれます。しかし戦時下にあっても、その精神と組織は失われず例会は続けられ、戦後の平和回復とともに国際ロータリーに復帰しました。

第2回の例会で入会した5人目の入会者、印刷業のハリー・ラグルスは例会に合唱を取り入れた人であり、1911年ザ・ナショナル・ロータリアン(現ザ・ロータリアン)の第1号の印刷業者でした。また、創立後、会員数200名に達するまでのシカゴクラブメンバー3分の2はラグルスの商会によるもので、大変大きな貢献をしました。彼自身第4代会長を務めました。

「馬車の車輪」をかたどった徽章が1924年に採用され、現在の公式徽章となりました。1907年ポール・ハリスは第3代会長に就任し、1908年ロータリー市場最高級の貢献をしたアーサー・フレデリック・シェルドン、チェスリー・R・ペリーが入会し、チェスリーは32年間に渡りRI事務総長を務め、ロータリー年度を7月1日から6月30日と定めたり、定款をつくり現在の国際ロータリーの前身を生み出しました。

○ロータリー財団の誕生

1917年アトランタ大会で「ロータリー基金」をつくることを提案し採択され、12年後「ロータリー財団」が設立され、財団の父と呼ばれたのは「アーチ・フランク」です。現在、国連難民高等弁務官として活躍している緒方貞子さんは、日本人として初めての女性の財団奨学生となった人です。1996年、カルガリー国際大会で「国際理解賞」を授与されました。

○戦後のロータリーとライオンズ

1952年(昭和27年)、中国大陸に残っていたロータリークラブは中国共産党の進出によりすべて解散し、台北ロータリークラブが唯一となりました。

フィリピンのマニラライオンズクラブがスポンサーで東京にライオンズクラブができ、ライオンズクラブは1917年テキサス州ダラスでメルビン・ジョーンズによって生まれたものですが、奉仕団体の一つとして活躍しています。

ポールハリスは「ロータリー類似のクラブが増えることは、それだけ世界の平和と親善に役立つことで、我々ロータリアンとしても喜ばしいことである」と述べています。

○四つのテスト

ハーバート・テラーはRI会長に就任した1955年(昭和30年)に「四つのテスト」版權をRIへ渡しています。もともとは22年前、1932年に彼の会社再建のため、まず第一にしなければならぬことを、倫理道徳に基づいた会社経営方針として固めたことがはじまりでした。

○ポール・ハリスと仲間たち

ポール・ハリスは几帳面な性格で、最初のメンバーを構成するのに、適切だと思う3人を選んだと言われています。

初代会長になった石炭商のシルベスター・シールはインディアナ州出身で子どもの時から、かなり辛苦を味わいながら育ち、他人の幸福ということに大きな関心を示し、慈善事業では欠かせない人物でした。二人は隣り合わせの別荘を持ったり、両家族との交流も深く、ハリスは今、生涯の友であるシールの墓のそばで眠っています。

ガスター・バス・ローアはシールと対照的に感情の起伏が激しく、また寛大すぎるほど寛大でした。鉱山技師という職業が経済的にも不安定であり、ロータリーを道半ばにして不慮の死を遂げてしまいました。2月23日のロータリー最初の会合を行ったのが彼の事務所であった事実は、ロータリーの歴史に残っています。

ハイラム・ショーレー洋服商はやさしく、気持ちのよい社交的な人物でした。最初の記録係が彼でした。最初の4人のことをポール・ハリスは「そもそもロータリー会員として集合した最初のグループで、いわば、大群の前衛であった」という控えめな表現で記しています。第7回の会合は、郊外の彼の店で開くことになっていましたが、遠すぎるので、便利の良いホテルで行いました。それがその後の会合の形式となりました。

○戦後の日本のロータリークラブ、そして釧路北ロータリークラブ

1949年（昭和24年）3月、東京、大阪をはじめ7クラブが国際ロータリー復帰を認められました。現在、日本の会員数はアメリカにつき第2番目です。ロータリー財団への寄付額もトップレベルで大きな貢献を果たしています。

釧路北ロータリークラブ、1958年5月28日設立。釧路ロータリークラブのスポンサーによりチャーターメンバー23名で当時平均年齢39歳の日本一若いクラブでした。同年8月18日にRI加盟認証を受けて、その日が創立記念日となっています。

1958年5月・浜中ロータリークラブ、1970年6月・釧路西ロータリークラブ、1971年11月・釧路北ロータリークラブ、1997年5月・釧路ベイロータリークラブ、釧路西ロータリークラブ共同スポンサー、村井 力氏（特別代表）で新クラブを誕生させている。1961年～1962年に故両角 克治氏が350地区（当時の東北・北海道全域）ガバナーに就任。依頼、1996年に坂本 一がガバナーの誕生。2008年に足立 功一ガバナーの誕生しました。